

別記様式第2号（第5関係）

研究活動実績自己評価票（令和 年度～令和 年度）

所属部局等		職名		氏名	
専門分野等			分野・分科等(情報学, 数学, 心理学等)		
<input type="checkbox"/> 人文科学	<input type="checkbox"/> 社会科学				
<input type="checkbox"/> 自然科学	<input type="checkbox"/> 芸術				
<input type="checkbox"/> スポーツ健康科学	<input type="checkbox"/> 教育科学	課程・学科(専攻)			

[1] 専門分野に関する研究

(1) 研究の目標はどの程度達成できたか。

A: 目標通り達成できた B: 目標を概ね達成できた C: 目標通り達成できなかった

(2) 達成度がCの者は以下の設問に回答すること。

① その理由について、以下の項目のどれに該当するか。

A: 授業等に関わる負担が大きい B: 委員会等の仕事が多い C: その他

② ①でAまたはBと回答した者は、以下に記入すること。

目標通り達成できなかった要因として、以下の項目の中に問題を感じているものがあればその項目について、にチェックした上で、具体的数字も記入すること。

	要因	具体的数字		
		年度	年度	年度
<input type="checkbox"/>	担当授業数が多い。 ・科目数(学部+大学院, 前期+後期) ・クラス数 (1週間の授業コマ数)	前期		
		後期		
	・受講者数(最小数 最大数)			
<input type="checkbox"/>	卒業研究の指導学生が多い。(人数)			
<input type="checkbox"/>	指導する大学院生の数が多い。(人数)			
<input type="checkbox"/>	委員会等の学内業務が多い。			
	具体的委員会名 (全学委員会には、頭に○を付すこと。また、委員長を務めているものには◎を付すこと。※2つの印が付くこともあり得ます。)			
	委員会合計数			
<input type="checkbox"/>	その他(大学運営上, 重要な役職に就く等, 事情がある場合には右欄に簡単にその内容を記入すること。)			

③ 研究条件に関わる項目

研究を遂行するために必要な条件等について、何か問題があった場合、問題があったと考える事柄について、以下に記載すること。

[2] 学部（課程）の教育および大学院教育の目的に沿った研究

(1) 研究の目標はどの程度達成できたか。

A：目標通り達成できた B：目標を概ね達成できた C：目標通り達成できなかった

(2) (1)の達成度がCの者は、下記に回答すること。

①未達成の理由は、「[1]専門分野に関する研究」と同じか。

a. 同じ

b. [1]での理由に加えて、他の理由もある

c. [1]の理由とは異なる

②①でb, cと答えた者は、次の項目に当てはまるものがあれば選択すること。

赴任後間もないため、現在、研究の方向性を検討中である。

(赴任して○年目)

科学研究費助成事業等の競争的資金、外部資金に基づく「専門分野に関する研究」に多くの時間がとられたため。

大学が主導する社会貢献事業に多くの時間がとられたため。

その他